

標的となる機関リポジトリ：ARLの調査とScopus/Scirusの機能（Barbara Quint）

Institutional Repositories on Target: ARL Survey and Scopus/Scirus Features by Barbara Quint.
Information Today. Newsbreaks, August 28, 2006.

2006年8月28日－機関リポジトリ（IRs: Institutional Repositories）は、学術研究をオープンウェブに届けるオープンアクセス運動の重要な要素を形成する。図書館とその顧客は学問研究を求めてデジタル IRs を定期的に検索するが、現在、ますます多くの研究図書館は、それ自身 IRs の創生、維持、普及および擁護に関わる、機関リポジトリをひとつの責務として思い巡らし始めている。北米研究図書館協会（<http://www.arl.org>）は、転換の可能性を秘めた学術コミュニケーションの技術的再編成についての基礎データを収集するために加盟館に対する調査を行った。また、学術出版社はその事象に目をつけた。エルゼビアは新たに Scopus ユーザ（<http://www.scopus.com>）に対して「ソース検索（Search Sources）」機能を導入した。その機能によって図書館員は特定の機関リポジトリや特定のデジタル専門コレクションにユーザを案内するようにインターフェースをカスタマイズすることができる。新しい Scopus の機能は、エルゼビアの無料学術検索エンジンである Scirus（<http://www.scirus.com>）のユーザが、高度検索（Advanced Search）機能を利用して検索ごとにコンテンツの優先順位を設定できるように、図書館員が Scopus におけるコンテンツの優先順位を単に事前設定可能にするだろうと思われる。Scopus の発表はまた、Scopus の顧客が自らの機関リポジトリを拡張しつつある Scirus レポジトリ検索プログラムに公開することを奨励する。

北米研究図書館協会（ARL: Association of Research Libraries）の123の会員は、米国およびカナダの最大規模の研究図書館を代表する。2006年初めの38項目の調査に対して87の会員館（71%の回答率）から回答があり、37の回答館は運用可能なIRを提供し、31は2007年にIRを計画中であり、当面IRの計画を持っていないのはたった19である。結果は[IRの]急激な成長を示す。その統計がすべてのARL会員館に当てはまるとすれば、現在、その30%はIRを持つが、その数値は2007年末に55%に跳ね上がるだろう。会員機関による実際のIR作業は本調査の範囲を越えるかもしれない。例えば、調査では、arXiv.orgのような複数機関のアーカイブによって作成された一般的なデジタルアーカイブと並んで[大学の]学部や他の部門で作成された、コンテンツを蓄積するためのデジタルアーカイブを除外している。調査はまたIRがハーベスティングに利用できるメタデータを扱うことを条件として要求していた。

本調査は、ヒューストン大学機関リポジトリ・タスクフォースが実施し、IRの実務と計画についての次のような広範な課題を扱っている。

- ・背景と現状
- ・計画、実施および評価
- ・職員の配置
- ・予算
- ・使用しているハード・ソフト

- ・方針と手続
- ・メタデータ
- ・コンテンツの募集 (recruitment) と評価
- ・便益と課題

主要な調査結果は、次の分野で一部の回答館が行っている活動について説明した一連のモデル文献が添えられている。

- ・ホームページ
- ・利用統計
- ・保管方針
- ・保管協定
- ・メタデータの方針
- ・デジタル保存の方針
- ・IR の提案
- ・IR の普及

ほとんどの IRs が始まってから 2 年かそこらであり、調査で確認された IRs の掲載デジタル・オブジェクトの中間値が 3,844 であるのは驚くに値しない。コンテンツは通常、学位論文、論文のプレプリントおよびポストプリント、会議の発表資料および会議録、技術報告、ワーキング・ペーパーおよびマルチメディア資料を包含する。ほとんどの IRs はハーベスティングのための OAI-PMH に対応し、半数強が OpenURL に対応している。立ち上げ費用はふつう 182,500 ドル前後で、職員 (28FTE が典型的) [の経費]が大半を占める年間の運営予算は 113,500 ドルだが、本調査のこの部分の回答は、他の IR プロジェクトでの経験で示されているものに比べて予算と職員の数値を高く考えているようだ。IRs の設立理由の第一位の理由が OA (オープンアクセス) でなかったにも関わらず、その 89% という値は、機関の学術研究の世界的な可視性の増加 (97%) や保存 (95%) に対して非常に近接した 3 番目であった。

調査結果資料は、ARL SPEC Kit 292 「機関リポジトリ」という標題が付けられている (176p, 2006 年 7 月, ISBN 1-59407-708-8, 45 ドルまたは ARL 会員 35 ドルに手数料 10 ドルを追加。http://www.arl.org/pubscat/order)。だが、目次と概要までが無料で (http://www.arl.org/spec/SPEC292web.pdf) ダウンロードできる。ところで、著者の後押しを受けて、概要は他の ARL SPEC Kit よりも長い。それは、通常の 1,500 語に比べて 5,000 語以上である。IRs に関心を持つ人であれば、これは裕福なプレイヤーが何をしているかを吟味する良いきっかけ (good start) である。

Scopus/Scirus の貢献

ARL の報告書によれば、DSpace は IR ソフト選択の先頭に立ち続けている。それは、また、エルゼビアの Scirus によってアクセスされるプラットフォームの一つであり、現在、新たな「ソース選択 (Selected Sources)」機能¹⁾を利用してエルゼビアの Scopus

のインターフェースをカスタマイズする図書館が **Scirus** を利用できる。**Scopus** サービスには既に印刷出版物に **Scopus** が提供する抄録や引用文献からエルゼビアの無料学術検索エンジンである **Scirus** によってアクセスされる 2 億 5 千万ページの質の高いウェブページまでを利用者が選択するウェブ検索タブがある。しかし、今や図書館員は、彼らの利用者コミュニティによる検索のために、選択した機関リポジトリやデジタルアーカイブを指定するために別のタブである「ソース選択」を選択できる。昨年、**Scirus** は、そのスパイダーソフトで全コンテンツが利用できるように大学および研究機関を奨励するリポジトリ検索プログラムを確立した。

新しい機能の発表は、図書館員が 19 以上の機関リポジトリを選択できることを示した。**Scopus** の製品開発部長 **Niels Weertman** によれば、19 のソースの一部は 1 以上の機関デジタルアーカイブを扱う。彼は、アーカイビング機関数を 60 かそれ以上と見積った。19 の IR あるいは IR のグループの中で、**Scopus/Scirus** のコネクションは図書館員を次の標的に導いてくれる²⁾。

- CalTech 経由の 6,000 文献
- トロント大学の T-space 経由の 4,000 文献
- MIT のオープンコースウェアからの 54,000 文献
- NDLTD 経由の 237,000 件の学位論文全文
- ArXiv.org 上の 363,500 の e プリント
- Cogprints による 2,600 の e プリント
- 12,000 件の NASA の技術報告
- RePEc 経由の 180,000 文献
- DiVa 経由の 11,000 文献
- 香港科学技術大学経由の 2,200 文献
- 5,200 件の Organic [Eprints] の e プリント
- ザールラント大学の PsyDok 経由の 600 件以上の文献

現在、新しい **Scopus** の機能は **Weertman** によれば、リポジトリ全体にまさに及んだところである。それは、図書館員が **Scirus** によって索引された質の高いウェブサイトの独自の編成に導いてくれるものではない。「私たちは **Scopus** で現在ブックマークを扱わない。またそうする計画もない。しかし、私たちは文献やウェブ上の査読済み情報 (peer-reviewed information) を見つけ、未来の研究者がそれを簡単に行えるプロセスの改善方法を常時追求している」と **Weertman** は述べた。

学術研究のフィールドを支える多くの機関アーカイブはプレプリントおよび出版論文のポストプリントかその一方を持っている。当該分野の専門家は増大しつつある「バージョンニング」の問題を危惧しており、特に最終的な査読論文と査読を受けない投稿原稿の違いに気がついていないエンドユーザを懸念している。そして、いうまでもなく、オープンアクセス運動の圧力によって多くの出版社が機関リポジトリにポストプリントを載せるために、通常は規定の待ち時間の後で、最終論文を提供する結果を招いている。利用者と図書館員が機関リポジトリに向かう理由の一つは、学術文献の無

料のオープンアクセス・バージョンを見つけるためである。私は Weertman に Scopus がある文献の一つのバージョンを識別する抄録索引作業の問題に対処する何らかの方法を持っているかどうかについて質問した。それは、Scirus を通じてオープンウェブ上で見つかった文献が、利用者に対して「適切なコピー」のライセンスされたアクセスリンクが持つかもしれないし、持たないかもしれないものである。彼は、そのような統合に対して「現在のソース選択機能は対応していない。私たちは Scopus レコードと別のレコードを照合しない。ユーザ・図書館員コミュニティに十分なニーズがあることがわかった場合、私たちはその開発を試みようとするだろうが、私たちには確定した、当面の計画がない。」と回答した。Weertman によれば、エルゼビアは、Scopus の新たなソース選択機能にこれ以上手をかけないだろう。

注

- 1) http://help.scopus.com/robo/projects/schelp/m_new.htm#selectedsources
- 2) <http://www.info.scopus.com/setup/integration/selectedsources/>